
もういやだ！限界！

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

もういやだ！限界！

【Nコード】

N1777Q

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

改行がないので苦手な人は挑戦してみよう。ただし、15禁です。中学生以下で読みたいやつは、男子ならチョビひげを買ってきて鼻の下につけてから読みなさい。女子なら、おばちゃんパーマのかつらを買ってきて頭に被ってから読みなさい。では、どうぞ。

（前書き）

前書きがかなりエロスになり、政府から公開してはいけないと注意されたのでしません

働いても働いても働いても結婚できない。もう今年で34歳。いまだ童貞。しかも非正規労働者。絶望しかない。未来がない。国や企業は援助しないのは勿論のこと「しよう」ともしない。できなくても、せめて努力くらいせえやと思うがそれすらもしない。いいかげん腹立つ。オレは怒りのあまり、街へ出て包丁を振り回したくなる。実際、リュックサックの中には包丁が入ってる。前を女子小学生が歩いてる。ツインテールが可愛い。オレにも子供がいればあれくらいの年齢か。オレは女子小学生を刺したくて刺したくてたまらない。刺せば親が泣く。親はきつと正社員だろう。正社員の泣く姿を見たい。正社員はほんまに腹立つ。オレたち非正規労働者から利益を横取りしていい暮らしをしてる。女子小学生を刺したい。包丁で刺したい。何回も刺して抜いて刺して抜いてしたい。その前にレイプしてやるか。女子小学生のまんこにちんぼブコンでやるか。その後に殺せばいいか。くそ。興奮してきた。しかしそんなことすりや逮捕だわなあ。しかし今のオレの所得状況では一生セックスができない。レイプしなければ逮捕されないけどセックスはできない。レイプすれば童貞を捨てることができるが逮捕される。まるでうんこ味のカレーかカレー味のうんこかな。どちらもいやだな。キチガイじみた二択だ。うーん。うーん。お腹痛い。なんて悩んでるうちに女子小学生はどっか行っちゃった。今度は背の曲がったばあ。天皇陛下くらいの年齢だろうか。こうなったらばあをレイプしてやるつか。贅沢は言ってられない。贅沢言ったら一生童貞だ。宮沢賢治になるつもりか。いやだ。セックスしたい。しかし、ばああ相手に勃起するだろうか。したとしてもばあを犯して逮捕ちゅうのは冴えないな。虚しいな。まんこ臭そうだし。やだなあ。うーん。うーん。腹痛い。とか悩んでるうちに、ばあさんは赤信号を渡りトラックにはねられてアスファルトに倒れていた。くそ。せつか

くレイプするで考えがまとまってきたというのに死んでしまうとは忌々しい。お。前からごっつかわいい顔した男子高校生が歩いてる。こうなったら男でもいいか。尻の穴にブッコンでやるうか。いやしかし、ウンチがちゃんこにつくからやだなあ。てか、やっぱり女がいいなあ。男はやだなあ。でもあの男子高校生かわいいなあ。抱きたいなあ。うーん。うーん。腹痛い。とか何とか悩んでたら男子高校生がオレの前まで来てもじもじしながら「おじさん。オレとホテルに行きませんか」と言ってくる。オレはあたふたして「そんな趣味ありません」と言うが男子高校生は「嘘だ。オレのことやらしい目で見えたもの。オレ、フェラチオ上手ですよ」としつこいので、オレは急に怖くなって、うるさいうるさいうるさあああああいと叫んで逃げた。逃げて逃げて逃げまくった。やっと男子高校生が見えなくなったので、オレはまた歩き始めた。疲れた。ごっつ疲れた。くそ腹立つ。セックスしたい。大人の女性とセックスしたい。けど大人の女性は正社員しか相手にしない。オレみたいな非正規労働者など眼中にない。前を野良犬が歩いてた。ちんこがついてないの。でメス犬だ。この際、犬でもいいか。穴さえあれば。しかし人間の尊厳が。もし獣姦などしてしまえばご先祖様に申し訳ない。しかしメス犬の尻を見ただけでちんこがギンギンになってきた。うーん。うーん。頭がおかしい。腹痛い。ごっつ痛い。とか悩んでるときにメス犬がオレの前まで来て「おじさん。やらしい目であたし見てたね。やりたいの？ペティグレイチャムおごってくれたらやらせてあげるよ」と言うのでオレはビビった。「ビーフジャーキーもくれたらフェラチオしてあげるよ」と言う。オレは「しゃべったあああああ」と絶叫して逃げた。逃げて逃げて逃げて逃げて逃げたくり山を越え海を越えアパートにたどり着いた。オレは部屋に飛び込み、リュックサックを放り投げ、机の上に原稿用紙を広げ、一心不乱に万年筆を走らせた。バカなことしとる場合ではない。すばる文学賞の締め切りが近いのだ！！！！

（後書き）

後書き担当大臣がテロリストに拘束されてしまったので後書き原稿がついに間に合いませんでした。申し訳ありません。今、自宅にテロリストから後書き担当大臣の血まみれきんたまが郵送されてきました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1777q/>

もういやだ！限界！

2011年1月19日11時47分発行